

## 第9章 農 林 部

# [農 林 部]

## 1. 農林水産

経営状況（旧河辺町・旧雄和町を含む）

資料：2010年世界農林業センサス

区分	年次	H 17	H 22	増 減
経営耕地面積 (ha)		7,446	7,032	△414
1戸平均経営耕地面積 (ha)		1.73	2.01	0.28
経営規模	1 ha 未満 (%)	36.8	31.6	△5.2
	1 ha～2 ha 未満 (%)	35.6	36.4	0.8
	2 ha～3 ha 未満 (%)	14.8	14.4	△0.4
	3 ha 以上 (%)	12.9	17.6	4.7
販売農家戸数 (戸)		4,303	3,495	△808
戸数業別	専業 (戸)	680	788	108
	1種兼業 (戸)	483	377	△106
	2種兼業 (戸)	3,140	2,330	△810

「県都『あきた』成長プラン」や「緑あふれる新県都プラン」における農林水産業・農村分野の基本計画として策定した『秋田市農林水産業・農村振興基本計画』に基づき各施策を推進する。

### (1) 農林水産業経営の確立と食料の安定供給

- ア 農林水産業・農村振興基本計画策定経費 (予算額 430千円)  
本市農林水産業・農村の総合的な振興をはかるため、農林水産業振興戦略会議等の意見・提言を踏まえ、「秋田市農林水産業・農村振興基本計画」の見直しを行う。
- イ 農業振興地域整備計画策定経費 (予算額 3,595千円)  
優良な農地の確保・保全をはかるため、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域整備計画の見直しを行う。
- ウ 優秀農業者等表彰事業 (予算額 541千円)  
農業者の経営発展による地域農業の振興をはかるため、意欲的に農業経営や技術向上に取り組む農業者等を表彰する。
- エ 農業経営安定資金預託金 (予算額 600,000千円)  
農業者の経営安定、規模の拡大や生産性の向上をはかるため、JA新あきたに融資原資を預託し、低利で円滑な融資を行う。
- オ 6次産業化普及・啓発事業 (予算額 8,526千円)  
6次産業化に取り組む人材の育成や普及・啓発を行う。  
・人材育成研修の実施  
・6次産業化事例研究学習会の開催  
・6次産業化等の取組の中核的な役割を担う地域リーダーの育成  
・6次産業化シンポジウムの開催  
・農業女子パワー発揮事業  
・6次産業化に関する意識調査
- カ 6次産業化地域資源発掘事業 (予算額 3,710千円)  
6次産業化に資する地域資源（商品、産品、事業体）を発掘、育成する。  
・高校生による「17歳の6次産業化プロジェクト」

- ・市内大学との連携による「秋田市土産品開発プロジェクト」
  - ・東アジア等市場開拓
  - ・地域ブランド化事業
  - ・秋田市地域特産品アイデアコンテスト
- キ 6次産業化実践モデル支援事業 (予算額 1,800千円)  
地域の資源や特性を活かし、企業と地域住民が協働で商品開発や直売、農産品加工などの6次産業化に取り組むための調査・研究、事業計画策定等を支援する。
- ク 6次産業化起業・事業拡大支援事業 (予算額 14,925千円)  
農業者等の所得向上や雇用創出をはかるため、6次産業化促進活動を行うとともに、事業に取り組む者を支援する。
- ・専任指導員の雇用・活動推進経費
  - ・農産品加工施設の新設、増改築および農家レストラン等の整備助成
  - ・商品開発等に対する助成
  - ・秋田市6次産業化懇話会の運営
  - ・秋田市農産加工品等販売促進協議会の活動支援
  - ・6次産業化実践者サポート事業
- ケ 6次産業化加工技術研修経費 (予算額 6,931千円)  
秋田市園芸振興センターの研修棟および加工研修室を利用して、一般農業者等を対象に6次産業化に必要な農産加工品等の知識および技術を習得するための研修を行う。
- ・通年コース方式による講座・加工研修
  - ・1日コースによる講座・加工研修
- コ 地域特産品等セールスプロモーション事業 (予算額 3,770千円)  
市内農産加工品の製造・販売の拡大と事業者の所得向上をはかるため、秋田市農産加工品等販売促進協議会による首都圏展示会への出展および県内スーパーや食品卸売事業者等とのマッチング商談会開催を支援する。
- サ 人・農地プラン作成促進事業 (予算額 780千円)  
集落・地域が抱える「人農地問題解決」のため、集落・地域の話合いにより、人・農地プランの作成を促進する。
- シ 農地集積・集約化対策事業 (予算額 16,413千円)  
農地の中間的受け皿として新たに設置された農地中間管理機構の積極的活用により、担い手への農地集積と集約化を促進する。
- ス 担い手育成・確保事業 (予算額 3,389千円)  
本市農業を担う人材を確保するため、担い手の掘り起こし活動や集落営農の組織化、法人化の支援を行う。
- セ 新規就農支援事業 (予算額 16,607千円)  
将来の本市農業を支える担い手の育成・確保をはかるため、農業で自立しようとする意欲あふれる新規就農者への支援を行う。
- ・フロンティア農業者研修
  - ・新規就農総合支援事業
  - ・新規就農者経営開始支援事業
- ソ 地産地消推進事業 (予算額 355千円)  
地場産物の消費拡大をはかるため、市内農産物・加工品の直売活動や、学校給食における市内産農産物の供給拡大により地産地消を推進する。

- タ 園芸作物生産振興事業 (予算額 11,731千円)  
園芸作物の生産農家や新たに取り組む農業者等に対し、生産基盤の整備や設備等の導入を支援するほか、園芸振興品目の展示や現地研修に活用する実証ほ場を設置し、栽培技術の向上をはかる。
- チ 園芸作物担い手育成事業 (予算額 10,859千円)  
園芸作物に取り組む担い手の育成と周年型農業の普及促進をはかるため、新規就農研修や冬期農業研修等を実施する。
- ツ 園芸作物販売促進支援事業 (予算額 1,140千円)  
園芸作物の販売促進のため、販路開拓等を行うほか、市内産園芸作物の流通拡大に向けた取組を支援する。  
・残留農薬等検査費補助金  
・販路開拓拡大支援対策
- テ 大規模園芸団地整備事業 (予算額 86,761千円)  
雄和平沢地区で計画されている大規模園芸団地の整備を支援する。  
・総事業費 約1億2,000万円  
・事業期間 平成27～28年度  
・取組作目 ダリア(露地2ha、施設1,323坪)、枝豆5ha、ねぎ3ha  
・整備内容 パイプハウス14棟、格納庫1棟、予冷库1棟、枝豆・ねぎの生産、収穫、調製機械、トラクター、溝掘り機ほか
- ト 園芸振興センター管理運営経費 (予算額 59,787千円)  
新規就農者等の育成と園芸作物の生産拡大に向け整備した園芸振興拠点施設の管理運営を行う。  
・施設面積 研修・展示エリア(施設1.7ha 露地2.8ha)、管理エリア1.0ha、営農エリア1.7ha  
・建築物 管理棟、研修棟、作業棟、格納庫 各1棟  
・生産施設 軽量鉄骨ハウス1棟、パイプハウス19棟、堆肥舎1棟
- ナ 農業経営発展支援事業 (予算額 4,469千円)  
園芸作物および土地利用型作物(大豆)の生産拡大に取り組む場合に必要な機械等の整備に対する経費に助成する。
- ニ 経営所得安定対策推進事業 (予算額 20,063千円)  
経営所得安定対策の円滑な実施をはかるため、趣旨、内容の周知等の普及推進活動や対象作物の作付面積等の確認作業を行う。また、秋田市農業再生協議会が実施する取組を支援する。
- ヌ 稲作・大豆生産振興事業 (予算額 354千円)  
良質米等の生産による農業所得の向上と安定化をはかるため、稲作・大豆作物の生産振興に向けた支援・指導を行う。
- ネ 中山間地域農業支援事業 (予算額 9,990千円)  
中山間地域の資源を活かした創意あふれる計画を策定し、水田の畑地化整備や地域特産物の導入に必要な機械等の導入を支援し、特色ある中山間地域農業の展開をはかる。
- ノ 家畜衛生対策事業 (予算額 2,016千円)  
獣医師による定期的な畜産農家巡回や家畜伝染病の予防接種に要する経費を助成する。
- ハ 優良素牛等導入事業 (予算額 2,526千円)  
優良子牛の導入や受胎向上等の取組を支援する。  
・乳用牛(初任牛)、肉用牛(優良雌牛)の導入に対する助成  
・県有種雄牛の人工授精に対する助成

- ・人工授精治療費に対する助成
  - ヒ 肉用牛生産拡大支援事業 (予算額 8,249千円)  
畜産の事業規模の拡大のため、畜舎等の新設にかかる概算設計等を支援する。
  - フ 栽培漁業定着推進事業 (予算額 299千円)  
沿岸漁業における水産資源の維持・増殖を促進し、漁獲量の安定化をはかるため、種苗の放流を支援する。  
・ガザミ (50万尾) の放流に対する助成
  - ヘ 内水面資源維持対策事業 (予算額 1,989千円)  
内水面漁業における水産資源の維持・増殖をはかるため、鮎などの稚魚の放流を支援する。  
また、環境保全意識の醸成をはかるため、旭川と新城川において市民参加による稚魚の放流イベントを行う。
  - ホ 農道舗装事業 (予算額 11,900千円)
    - ・継続地区 太平八田、仁井田福島、四ツ小屋家ノ下
    - ・新規地区 雄和芝野新田、下新城岩城
    - ・舗装延長 L=755m
  - マ 市単独土地改良事業補助金 (予算額 11,820千円)  
国・県の補助対象とならない小規模な土地改良事業に対し助成する。  
・水路改修5箇所、揚水機1箇所、農道拡幅1箇所
  - ミ 基盤整備関連経営体育成等促進計画策定経費 (予算額 2,355千円)  
農業生産基盤の整備推進をはかるため、県が計画している農地集積加速化基盤整備事業の事業採択要件となる「基盤整備関連経営体育成等促進計画」を作成する。  
・下新城笠岡西部地区  
・上北手大戸百崎地区
  - ム 県営土地改良施設等整備事業負担金 (予算額 132,610千円)  
生産基盤の整備や災害の防止をはかるため、ほ場、用排水路、ため池等の整備を行う県営事業の事業費の一部を負担する。  
・ほ場整備 雄和平沢 ほか  
・ため池等 雄和釜ヶ沢、雄和芝野、河辺寺田、外旭川穴堰 ほか
  - メ 土地改良施設管理費補助金 (予算額 889千円)  
土地改良施設の機能維持をはかるため、土地改良区等が管理する施設の整備を支援する。
  - モ 森林整備地域活動支援事業 (予算額 12,300千円)  
森林経営計画の作成および計画作成時の間伐実施調査を支援する
  - ヤ 林道整備事業 (予算額 24,000千円)  
林道の輸送力向上と通行の安全確保をはかるため、幹線的な林道を整備する。  
・林道名 檜田線  
・舗装延長 L=664m (下浜八田地内)
- (2) 豊かな農山村の形成
- ア 都市・農村交流促進事業 (予算額 499千円)  
都市と農村の共生・交流を促進するため、都市・農村交流活動への支援や体験・交流のための企画の検討などを行う。
  - イ 環境保全型農業直接支援対策事業 (予算額 1,544千円)  
良好な自然環境を守り、環境保全に効果の高い営農活動の普及推進をはかるため、環境保全型農業に取り組む農業者を支援する。

- ウ 中山間地域等振興対策事業 (予算額 151千円)  
 中山間地域における農地の多面的機能を維持するため、農業生産活動が継続的に行われるよう、水路や農道の維持管理など自立的な活動を行う協定締結集落を支援する。
- エ 多面的機能支払交付金活動支援事業 (予算額 233,037千円)  
 農業・農村の有する多面的機能(国土保全、水源かん養、景観形成等)の維持・発揮をはかるため、水路・農道等の地域資源の保全と地域資源の質的向上をはかる共同活動等を支援する。
- |                  |      |         |
|------------------|------|---------|
| ・農地維持支払交付金       | 88組織 | } 全88組織 |
| ・資源向上支払交付金(共同活動) | 39組織 |         |
| ・資源向上支払交付金(長寿命化) | 5組織  |         |
- オ 森林環境保全整備事業 (予算額 5,050千円)  
 森林の生産性と公益的機能の向上をはかるため、緊急に間伐が必要な森林における間伐経費の一部を助成する。
- ・間伐補助 A=300ha
- カ 森林病害虫等防除事業 (予算額 26,554千円)  
 松くい虫被害で枯れた松の伐採や薬剤散布により被害の拡大を防止するほか、共同防除を実施する町内会に薬剤を交付する。
- また、ナラ枯れ被害の拡大を防止するため、枯れたナラ類被害木の処理を行う。
- キ 有害鳥獣駆除捕獲対策事業 (予算額 1,819千円)  
 人身および農作物への被害を防止するため、猟友会と連携をはかりツキノワグマの捕獲やカラス等の駆除を実施する。
- ク ヤマビル被害防止対策事業 (予算額 722千円)  
 ヤマビルによる吸血被害を防止するため、駆除を行う関係町内会に散布用の薬剤を交付する。
- ・金足黒川、下新城小友、上新城湯ノ里、上新城白山、上新城石名坂、上新城小又、仁別、藤倉
- ケ 水と緑の森づくり事業 (予算額 16,801千円)  
 マツ林やナラ林の健全化をはかるため、枯死・白骨化した被害木を伐採する(秋田県水と緑の森づくり税事業)。
- ・マツ林・ナラ林等健全化整備事業 調査46.33ha、伐採1,700m<sup>3</sup>
- コ 造林事業(市有林会計) (予算額 20,455千円)  
 造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮をはかるため、枝打ちや除間伐を実施する。
- ・市有林面積 2,735ha
  - ・除 伐 19.46ha
  - ・間 伐 54.44ha
  - ・枝 打 19.46ha
  - ・作 業 道 1,500m

[保有形態別森林面積]

資料：平成26年度県林業統計

単位：ha

総計	国 有 林				民 有 林				
	合 計	林野庁所管		その他の 官庁所管	合 計	公 有 林			
		国有林	官 行 造林地			小 計	県	市	財 産 区
61,455	24,716	24,383	271	62	36,739	4,761	1,481	3,036	244

有 林						
私 有 林						
小 計	個 人	森林総合 研究所	林業公社	会 社	社 寺	その他
31,978	18,704	202	3,612	2,387	248	6,825

(3) 地球温暖化への対応

ア オフセット・クレジット制度活用推進経費（市有林会計）

（予算額 307千円）

環境・地球温暖化対策の重要性について市民意識の醸成をはかるため、市有林の間伐施業により認証・発行されたオフセット・クレジットの販売を推進する。

## 2. 卸売市場

(予算額 中央卸売市場 98,626千円 公設地方卸売市場 339,922千円)

生鮮食料品等の取引の適正化とその生産および流通の円滑化をはかるため、昭和50年2月17日に中央卸売市場を開設し同年3月1日開業、平成4年度には花き部を開設し総合卸売市場としての機能の充実をはかり、秋田市および県内一円の生鮮食料品等の安定供給を担っている。

流通環境や消費者ニーズ等に柔軟に対応するため、平成24年4月1日に青果部と水産物部を公設地方卸売市場へ移行し、指定管理者制度を導入した。花き部については、中央卸売市場として引き続き取引業務を行う。

### [卸売市場の概要]

○ 面積 中央卸売市場3,144m<sup>2</sup> 公設地方卸売市場136,376m<sup>2</sup> 計139,520m<sup>2</sup> (約42,279坪)

○ 市場関係業者 (H27. 4. 1現在)

#### (中央卸売市場)

卸売業者 ……	花き部	1社	関連事業者 ……	第1種	1社
				第2種	1社
仲卸業者 ……	花き部	3社	売買参加者 ……	花き部	108人

#### (公設地方卸売市場)

卸売業者 ……	青果部	2社	関連事業者 ……	第1種	17社
	水産物部	2社		第2種	3社
				金融機関	1行
仲卸業者 ……	青果部	6社	売買参加者 ……	青果部	102人
	水産物部	6社		水産物部	117人



## (1) 市場使用料（規則）

種 別	金 額		
	中央卸売市場	公設地方卸売市場	
卸売業者市場使用料	卸売金額（消費税額および地方消費税額を含む）の1000分の3に相当する額および卸売場の面積1㎡につき月額159円	卸売場の面積1㎡につき月額384円	
屋外卸売場使用料	1㎡につき月額42円	—	
仲卸業者市場使用料	仲卸業者が条例第48条第2項の規定による許可又は承認を受けた場合におけるその買入れた物品の販売金額（消費税額および地方消費税額を含む）の1000分の3および仲卸売場の面積1㎡につき月額795円	仲卸売場の面積1㎡につき月額459円	
買荷保管積込所使用料	1㎡につき月額265円	1㎡につき月額96円	
関連事業者市場使用料	甲	1㎡につき月額1,166円	(A) 1㎡につき月額918円 (B) 1㎡につき月額765円
	乙	1㎡につき月額848円	1㎡につき月額612円
	丙	—	1㎡につき月額535円
卸売業者事務所使用料	1㎡につき月額636円	1㎡につき月額382円	
仲卸業者事務所使用料	1㎡につき月額636円	1㎡につき月額382円	
倉庫使用料	甲	1㎡につき月額795円	1㎡につき月額459円
	乙		1㎡につき月額382円
	丙		1㎡につき月額235円
保温庫使用料	1㎡につき月額244円	—	
水産加工所使用料	—	1㎡につき月額459円	
青果共同加工センター使用料	—	1㎡につき月額459円	
事務室使用料	—	1㎡につき月額229円	
会議室使用料	1回（3時間以内）につき530円	1回（3時間以内）につき402円	
駐車場使用料	—	1㎡につき月額50円	
空地使用料	—	1㎡につき月額24円	
電話設備使用料	1基につき月額477円	1基につき月額362円	
暖房使用料	1㎡につき月額64円	1㎡につき月額48円	
運輸施設使用料	—	1㎡につき月額306円	

※卸売金額および販売金額に係る市場使用料以外の市場使用料については、消費税額および地方消費税額を別途徴収するものとする。

## (2) 平成26年度取扱実績

(平成26年4月～平成27年3月)

種 別	区 分	取 扱 数 量 (トン・千本)	取 扱 金 額 (千円)
青 果 部	野 菜	35,374	8,046,443
	果 実	16,126	4,481,087
	加 工 品	642	201,812
	計	52,142	12,729,342
水 産 物 部	鮮 魚	7,841	5,555,719
	冷 凍 品	1,451	1,326,965
	塩 干 加 工 品	3,928	3,236,856
	計	13,220	10,119,540
花 き 部	切 花	32,051	2,034,072
	鉢 物	664	117,379
	植 木 ・ そ の 他	124	17,751
	計	32,839	2,169,202
合 計			25,018,084

注：四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合がある。